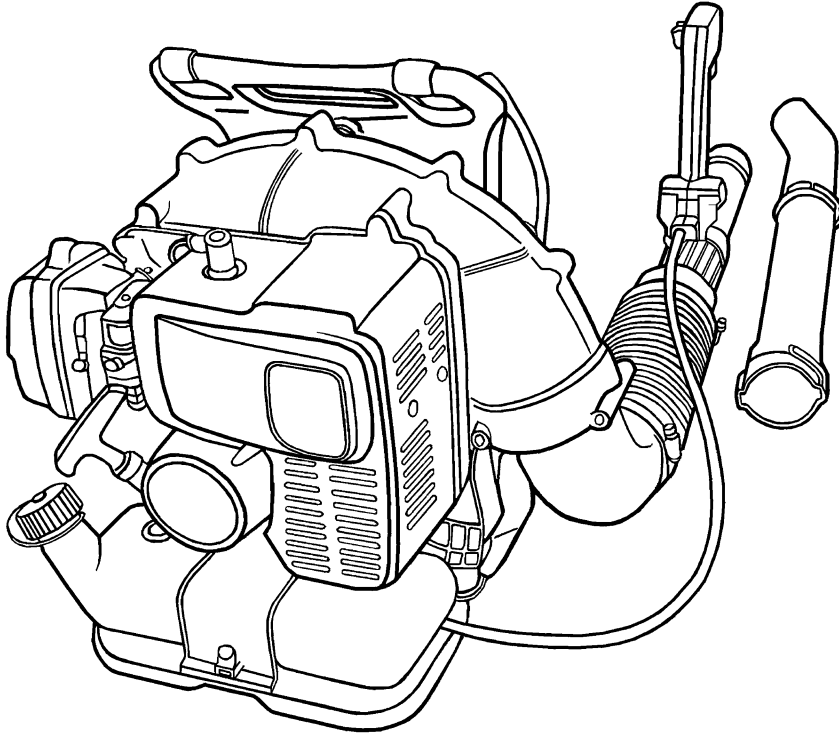




取扱説明書



SBA450K

ご使用前に、必ずお読みください。

46012-903

『ブロワ』を お買いあげいただき、ありがとうございます

はじめに

- ・この取扱説明書は『ブロワ』の取扱い方法と使用上の注意事項について記載してあります。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みいただき、機械の使い方を理解してから正しい取扱いをしてくださるようお願いいたします。
- ・ゴミ、落葉、刈込んだ草などの集草作業のために設計・製造されています。他の目的には絶対に使用しないでください。
- ・すべての取扱説明書を必ずお読みください。
- ・他人に機械を貸すときには『取扱説明書』をよく読んでもらい取扱方法や本書に書かれている安全作業の内容をよく理解してから作業するように指導してください。また、必ず機械と一緒に『取扱説明書』も貸してあげてください。
- ・取扱説明書は、お読みになったあとも、大切に保管してください。
- ・機械は絶対に改造しないでください。
- ・品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を予告なく行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。
- ・作業で起こりやすい事故を未然に防止する安全作業するための注意事項を記しました。詳細は本文の中で▲印の安全注意マークを付しておりますので、よくお読みいただき事故のないようにしてください。
- ・▲ **注意** : この取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こり得る全ての状況や状態を表すものではありません。機械の安全性には十分気を配っておりますが、作業する方や保守をする方も安全には十分な注意・配慮をお願いいたします。

▲安全作業をするために

- **般**
1. この機械はゴミ、落葉、刈込んだ草などの集草用に設計・製造されています。他の目的には使用しないでください。
 2. 子供や取扱いの指導を受けていない人には絶対使用させないでください。
 3. 取扱いの指導を受けていない人や、不慣れな人には機械を貸さないでください。
- 服 装**
1. 長袖・長ズボンで裾じまりのよいものを着用してください。
 2. 地下足袋、安全靴等の滑り止めのついたものを履いてください。
 3. 石などの飛散物やホコリから身を守るため、保護メガネ（ゴーグル等）を着用してください。作業環境により、保安帽、防塵マスク、手袋を着用してください。
 4. 騒音から耳を守るため、耳栓やイヤーマフ等適切な保護具を必ず、使用してください。
 5. 安全のための保護具はJ I S規格等の相当品を使用してください。
- 環 境**
1. 暑熱寒冷のときは連続長時間の作業は避けて、十分な休憩をとってください。
 2. 雨天や夜間の作業はしないでください。
 3. 屋内、換気の悪い場所での運転はしないでください。
 4. 作業場所内にガラス、針金、小石等の飛散物を取除いてから作業を始めてください。
- 火 気 厳 禁**
1. 2サイクルエンジンの燃料は、混合油を使用しますので、「ブロワ」の近くでタバコやたき火をしないでください。
 2. エンジン運転中又はエンジンが熱いときに、燃料キャップを外したり、燃料を補給したりしないでください。
 3. 補給中、燃料がこぼれたら完全に拭きとってください。
 4. 始動は、燃料のある場所や燃料補給の場所から十分離れて行ってください。
 5. 燃え易いものをマフラーから出る排気ガスに近づけないでください。
 6. 燃料は適切な容器に貯蔵し涼しい場所に保管してください。

始業前 の点検

1. 機械各部の点検を行い、ねじ類のゆるみや欠品のないこと、ガソリンやオイルの漏れがないことを入念にチェックし、異常のないことを確認してください。
2. 機械をきれいに掃除してください。特にエンジン、マフラ、燃料タンクの周囲のゴミやホコリなどは取除いてください。
3. 引火の可能性がある物の近くで始動しないでください。

作業中 の注意

1. 運転中に異常な振動や音を感じた場合は、直ちにエンジンを止め点検、修理を行ってください。
2. 周囲に十分注意し、15m以内に人やペット、自動車等が入っている場合は作業をしないでください。
3. 火気類や揮発性物質（ガソリン、塗料、シンナーなど）にはブロウの排出口を向けないでください。
4. 作業中点火プラグキャップ部には身体を触れないでください。

作業後 の注意

1. 作業機についたゴミや埃及び異物はきれいに取除いてください。
2. 格納する場合はエンジンが十分冷えてから火気や可燃物のない平坦な屋内へ保管してください。
3. 長期保管する場合は燃料タンクとキャブレター内のガソリンを完全に抜取ってください。
4. 子供の手が届かない所又、他人が簡単に持出せない場所に保管してください。

修 理 交 換








1. 交換部品は当社指定の純正部品をご使用ください。
2. 不調が発生したら、すぐにその原因を調べ処置をし故障を大きくしないようにしてください。
3. 原因がわからないときや修理調整しても再発するときは、お買いあげ先に相談し点検サービスを受けてください。

▲ラベルについて

安全な取扱いについて説明している「▲印付ラベル」を機械に貼付しています。安全上、特に重要な項目を表示しておりますので、記入内容を守り、安全な作業をしてください。

- ラベルをすべて読んでから使用してください。
- 機械に貼ってあるラベルが破損したり、塗料がついたり、または読めなくなったら新しいラベルに貼り替えてください。
- ラベルが付いている部品を交換するときは、新しいラベルも一緒に付けてください。
- ラベルは機械のお買いあげ先に注文してください。
(注文に際してはラベルに記入されているラベル番号で注文してください。)

「ラベル表示の意味について」

	表 示	意 味	主な貼付位置
標 識	 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。	/
	 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します	
	 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します	
記 号		ご使用前に必ず取扱説明書を注意深く熟知するまで読んでいただき、安全に作業してください。	フレーム部
		飛散物がありますので周囲の人やペットに注意してください。	
号		作業中人身事故が起こる恐れがありますので必ず防護具を着用してください。 (防塵メガネ、保安帽、耳栓、防塵マスク等)	
		火気厳禁 引火の恐れがありますので、火気を近づけないでください	

⚠安全作業説明



お客さまの安全をまもる

安全確認を習慣づけるようにしましょう。

⚠ 機械を他人に貸すときは…

他人に機械を貸すときには、「取扱説明書」をよく読んでもらい取扱い方法や本書に書かれている安全作業のポイントをよく理解してから作業するように指導してください。

機械と一緒に「取扱説明書」を貸してあげてください。

親切心から機械を他人に貸して、借りた人が不慣れなために思わぬ事故を起こしたりすると、せっかくの親切があだとなってしまいます。

もくじ



●作業前にこれだけは守りましょう …… 6	●作業するときは …… 8
●作業前の準備・点検するときは …… 7	●1日の作業が終わったら …… 9
●運搬・移動のときは …… 8	●長期格納するときは …… 9

⚠️ 作業前にこれだけは守りましょう！

こんな人は作業しないでください

●過労、病気、薬物の影響、
その他の理由により、正常な
運転操作ができない人



●酒気をおびた人



●若年者
●未熟練者

今日は作業を
やめておこう...



●妊娠している人



服装は作業に適していますか？

●安全作業着の一例

規格にあった保安帽を正しく
着用し、アゴヒモを絞める。

防塵メガネをつける。

アゴヒモの結び口は、
たらさないようにする。

呼笛は、垂らさずに
ポケットに入れる。

履物は、保温性、
滑り止めのあるもの。



耳栓を必ずつける。

防塵マスク

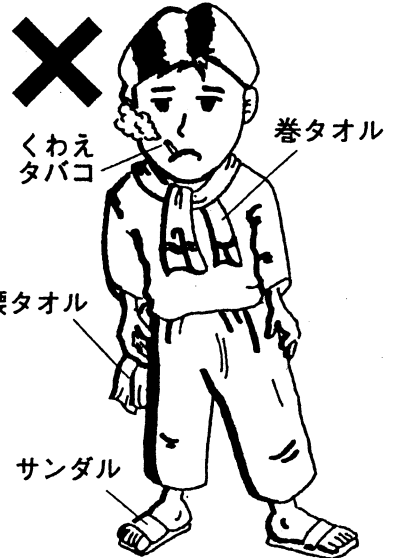
作業衣は、温かく、
身軽に作業できるもの。

腕カバー

手袋は、温かく、軟らかい
もので、いつも乾いて
いること。

裾締めりのよいもの。

こんな服装は事故の
原因になります！



くわえ
タバコ

巻タオル

腰タオル

サンダル

▲ 作業前の準備・点検するときは・・・

必ず守ってください



守らないとこんな事故が！

<p>◆点検するときはエンジンを停止し、プラグコードキャップを点火プラグから外してください。</p>	<p>機械が動いたりして、思わぬ事故を引起こします。</p>
<p>◆給油、注油、点検時は機械を平坦な場所に置きエンジンを停止してから行なってください。</p>	<p>機械が動いたりして、思わぬ事故を引起こします。</p>
<p>◆燃料には混合ガソリンを使用しますので燃料補給などを行なうときにはタバコやその他の火気を近づけないようにしてください。 燃料補給するときは必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから補給してください。</p>	<p>火災事故を引起こすことがあります。</p>
<p>◆ねじ類のゆるみや欠品がないことを点検してください。</p>	<p>正常な運転ができなく、事故を引起こす原因となります。</p>
<p>◆エンジン、マフラ、燃料タンクの周囲にゴミや草などが付着していないことを作業前に点検し、付着していれば取除いてください。</p>	<p>火災事故を引起こすことがあります。</p>
<p>◆点検、整備などで外した保護カバーなどは全て取付けてください。</p>	<p>機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引起こすことがあります。</p>
<p>◆油脂類の廃棄は廃棄設備のある所で行なってください。</p>	<p>環境汚染の原因となります。</p>
<p>◆燃料ホースの破損や燃料漏れがないことを作業前に点検してください。</p>	<p>火災事故を引起こす原因となります。</p>

▲ 運搬・移動のときには

必ず守ってください



守らないとこんな事故が！

◆他の場所へ移動する場合には必ずエンジンを停止してください。	飛散による事故や火災の原因になります。
--------------------------------	---------------------

▲ 作業をするときには

必ず守ってください



守らないとこんな事故が！

◆屋内など換気の悪い場所で運転をしないでください。	排気ガスは人体に有害です。排気ガス中毒で気分が悪くなったり、酸欠状態になって脳傷害になったり、死亡することがあります。
◆エンジン始動前に子供、ペット、障害物をあらかじめ遠ざけ、周囲の人に注意を促して周囲の安全を確認してから始動してください。	飛散による人身事故を引起こすことがあります。
◆作業中は飛散物があります。15 m以内に人やペットを近づけないでください。	飛散による人身事故を引起こすことがあります。
◆作業中異常振動、異常音、異常発熱が発生した場合は直ちにエンジンを停止し、点検修理してください。	機械が正常に動かなかったり、思わぬ事故を引起こすことがあります。
◆エンジン停止直後はエンジン、マフラ等の高温部に身体を触れないようにしてください。	火傷をすることがあります。
◆雨天や夜間での作業は避けてください。	スリップ事故、転倒事故を引起こすことがあります。
◆足場に注意し、機械や体のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で使用してください。 梯子の上、急斜面、屋根の上などでは絶対使用しないでください。	転倒などして、人身事故を引起こすことがあります。
◆エンジンを始動した後は点火プラグキャップ部には身体を触れないでください。	電気ショックを受けることがあります。
◆作業中は排出口を周囲の人へ向けしないでください。	飛散による人身事故を引起こすことがあります。

⚠ 1日の作業が終わったら・・・

必ず守ってください



守らないとこんな事故が！

◆清掃点検、整備をする時はエンジンのプラグキャップを取外してください。	機械が動いたりして思わぬ事故を引起こします。
◆エンジン、マフラ、燃料タンクに付着したゴミや草等を取除いてください。	火災事故を引起こすことがあります。
◆交換部品は当社指定の純正部品を使用してください。	思わぬ故障や人身事故を起こすことがあります。
◆他人が容易に取出せない場所に保管、管理してください。	取扱い方法を知らない人が使用すると思わぬ事故を引起こす原因となります。

⚠ 長期格納するときは・・・

必ず守ってください



守らないとこんな事故が！

◆燃料タンク・気化器に残っている燃料は、全部抜き取ってください。	火災の原因となることがあります。 エンジン不調の原因になります。
◆損傷箇所のある場合は修理してから格納してください。 この場合、部品は全て当社指定の純正部品を使用してください。	人身事故や機械の故障の原因となります。
◆機械は改造しないでください。	改造すると機械の性能に悪影響を与えるだけでなく、人身事故の原因になります。

はじめに

当社ブロワをお買い上げ頂き、ありがとうございます。本書は、ブロワの取扱を十分知って頂くための説明書です。ご使用前に、必ず、この取扱説明書を熟読の上、機械を正しく操作し、安全に作業をしてください。

尚、改良その他の仕様変更のため、本書の内容と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

目 次

	ページ数
A. 危険防止のための注意事項	1 3
B. 各部の名称と仕様	1 4
C. 組立	1 5
D. 燃料の取扱	1 6
E. エンジンの始動と停止	1 7
F. 各部の点検	1 8
G. 操作方法	1 8
H. エンジンの調整	1 9
I. 定期点検	2 0
J. 保管	2 0

A. 危険防止のための注意事項

1. はじめに

- (1) ご使用前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、危険防止、注意事項、操作方法などを十分理解してください。
- (2) この取扱説明書の危険防止、注意事項、操作方法を十分に理解し、順守できる人のみ使用してください。

2. 服装

- (1) 目の保護の為、防塵メガネを必ず着用してください。
- (2) ほこりの多いところでは、必ず防塵マスクを着用してください。
- (3) 長袖、長ズボンで、裾縮りの良い物を着用してください。
- (4) 安全靴などのすべり止めのついたものを履いてください。
- (5) 騒音から耳を守る為に、適正な防護具を使用してください。
- (6) 髪の毛の長い人が使用する場合、吸入口に吸い込まれる危険があります。必ず髪を束ねる等安全策をとって使用してください。

3. 環境

- (1) 暑熱寒冷のとき、長時間の作業は避けて、十分な休憩をとってください。
- (2) 雨天時の作業は、足元がすべりやすく危険な為、なるべく避けてください。
- (3) 屋内等の換気の悪い所では、有毒な排気ガスがたまります。危険なので作業しないでください。

4. 火気厳禁

- (1) 可燃性のガソリンを燃料として使用するため、ブロワのそばでタバコを吸ったり、焚き火の近くでの作業は、絶対行わないでください。
- (2) 燃料を補給する時は、必ずエンジンを停止し、火気の無い所でおこなってください。もしこぼれた場合は、きれいに拭き取って完全に乾燥してから使用してください。
- (3) 始動は、燃料のある場所や補給した場所から3m以上離れてから行ってください。
- (4) 燃えやすいものをマフラーから出る排気に近づけないでください。また、使用時マフラーの排気方向に壁がある場合などは、1m以上離れてください。

5. 始業前の点検

- (1) 各部のネジがゆるんでいないかよく調べてください。ゆるんでいる時は、しっかり締めてください。
- (2) 各パイプが確実に連結していることを確認してください。不十分な場合は、しっかりと固定してください。
- (3) 修理、整備等には、必ず当社指定の部品を使用してください。

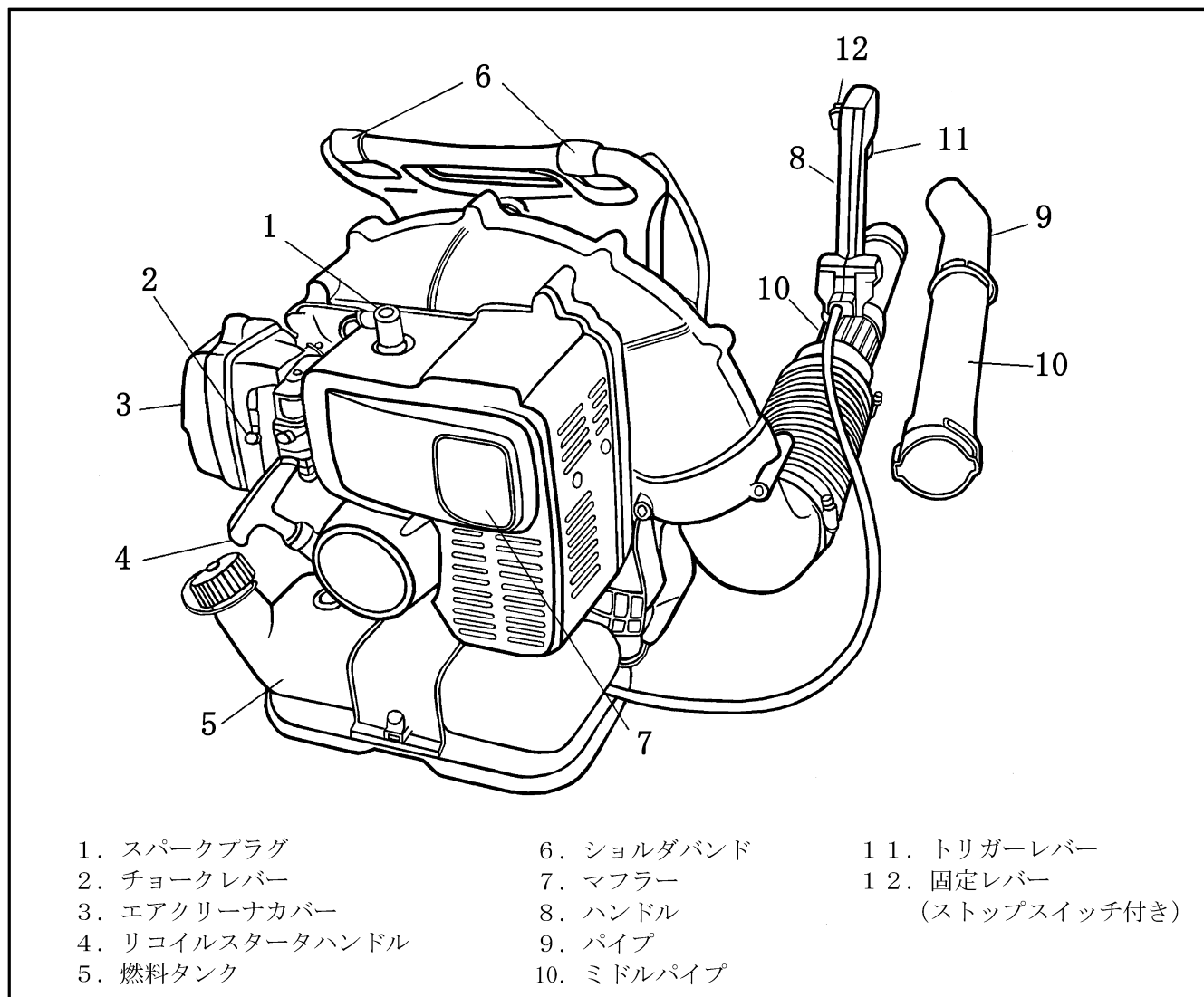
6. 作業中の注意

- (1) 作業中は、周囲15m以内に人やペットを近づけないでください。
- (2) 梯子、木の上、斜面等無理な姿勢での使用は、避けてください。必ずしっかりした足場を確保し、安定した姿勢で使用してください。
- (3) 吹き出し口を絶対に人、ガラス窓、動物等に向けしないでください。大変危険です。
- (4) 吸入口に異物等が付着しない様、注意して使用してください。異物等が付着したまま使用すると破損等の原因となります。
- (5) 吸入口に故意に異物を入れたり、パイプ内に物を入れないでください。
- (6) 化学製品、肥料等人体に害を及ぼす様な毒物を散布、噴霧する用途には、絶対使用しないでください。

7. 作業後の注意

- (1) 調整したり修理する時は、必ずエンジンを停止し、プラグキャップを点火プラグから外し、エンジンが冷えてから行ってください。
- (2) ブロワを保管する場合、燃料を完全に抜き、きれいに清掃してから保管してください。また、火気のある場所には、絶対に保管しないでください。

B. 各部の名称と仕様



仕様		
型式		SBA450K
外径寸法 (長さ×幅×高さ)	mm	360×450×415
乾燥重量 (パイプ類無し)	kg	9.5
燃料タンク容量	リットル	1.5
エンジン型式		空冷2サイクルエンジン
排気量	cm ³	45.4
点火方式		電子点火方式
気化器		ダイヤフラムタイプ
点火プラグ型式		NGK BPMR7A-9
始動方式		リコイルスターター
燃料混合比		ガソリン 50 : オイル 1

※この仕様は、予告無く変更することがあります。

C. 組立

1. 開梱 (図-1 参照)

- (1) 梱包ケース内の部品を取り出してください。
- (2) 下記のリストで部品を点検してください。
- (3) もし、部品の欠品または、破損のあった場合は、販売店までお知らせください。

番号	部品名称	個数
1	ブロワ本体	1
2	ホースバンド	2
3	フレキシブルパイプ	1
4	ベースパイプ	1
5	ミドルパイプ	1
6	パイプ	1
7	ワイヤバンド	1

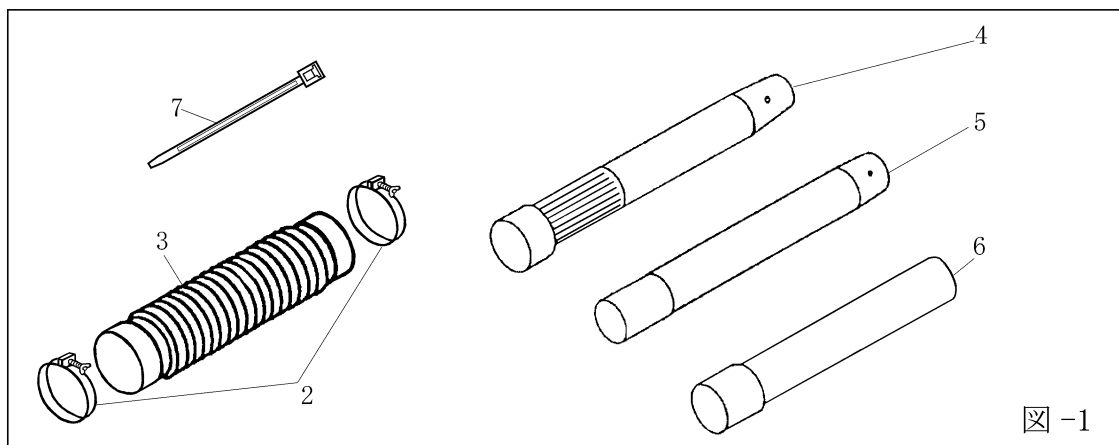


図-1

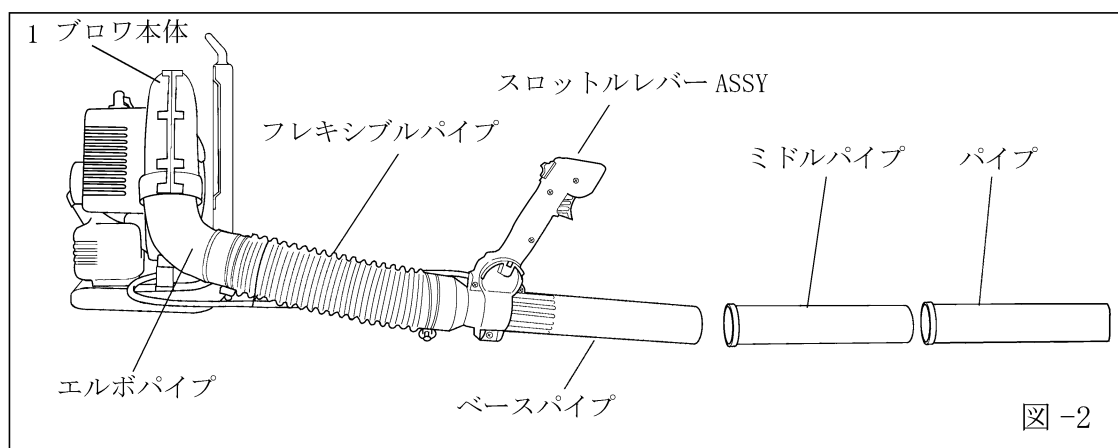


図-2

2. パイプの取付け (図-2 参照)

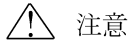
- (1) スロットレバー ASSY の下部タッピンネジ (1 本) を外し、ベースパイプ 4 に差し込んでください。
- (2) ホースバンド 2 をフレキシブルパイプ 3 の両端に通します。
- (3) フレキシブルパイプ 3 をエルボパイプに取付けホースバンドのネジを締め込んでください。
- (4) ベースパイプ 4 をフレキシブルパイプ 3 に取付けてホースバンドのネジで締めこんでください。
- (5) スロットレバーの位置を合わせ下部タッピンネジを締め込んでください。
- (6) フレキシブルパイプ中央部でスロットルワイヤをワイヤバンド 7 にて固定してください。この時あまり強くワイヤバンドを締め過ぎないでください。
- (7) ミドルパイプ 5 及び、パイプ 6 をしっかりとつないでください。

3. ショルダバンドの調整

ショルダバンドは、作業者の体格に合わせて調整できます。使用前に調整してください。

D. 燃料の取扱

1. 燃料の取扱



注意

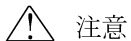
ガソリンは、非常に引火性・爆発性の強い液体です。

取扱時は、必ず火気厳禁で注意深く取り扱ってください。

- (1) 燃料補給は、必ず屋外で行ってください。
- (2) 燃料補給中及び、作業中は、タバコを吸ったり、そばで焚き火をしないでください。
- (3) エンジン運転中あるいは、エンジンが熱いときには、燃料キャップをはずしたり、燃料を補給しないでください。
- (4) 燃料は、こぼさないように補給してください。もしこぼれた場合は、必ず拭き取り、完全に乾かしてから、始動してください。
- (5) エンジン始動時は、燃料補給場所から少なくとも3 m以上離れてからおこなってください。
- (6) ガソリンの貯蔵は、適切な容器に入れ、火気の無い涼しい場所に保管してください。また、保管場所は、不用意に子供等が触れない場所で管理してください。

2. ガソリンとオイルの混合

- (1) ガソリンとオイルの混合比は、50 : 1です。
- (2) ガソリンとオイルの混合方法は、混合専用容器にガソリンとオイルを50 : 1となるように入れ混合するまで良く振ってから使用してください。
- (3) 混合に使用するオイルは、2サイクルオイルのFC級オイルを使用してください。



注意

1. 燃料を混合する時には、作業に必要な量だけ混合してください。
混合して2ヶ月以上保管していた燃料は、使用しないでください。
長期保管した燃料は、エンジンの始動性を悪くし、出力不足の原因となります。
また、製品の寿命低下につながります。
2. ガソリンは、良質な自動車用（レギュラー）ガソリンを使用してください。
アルコールが含まれているような粗悪ガソリンは使用しないでください。
3. オイルは、良質のFC級空冷2サイクル専用エンジンオイルを使用してください。
FC級より低クラスのオイルを使用するとカーボン詰まり等の原因となります。

3. 給油

- ◆こぼさないように燃料タンクに入れてください。
- ◆燃料キャップが斜めに入ると完全に密閉できず燃料漏れの原因となります。
確実に、十分締め込んでください。

E. エンジンの始動と停止

1. エンジン始動

- (1) スロットルレバーの固定レバーを「始動」(カメマーク)の位置にしてください。(図-3)
- (2) プライミング操作を行ってください。(図-4)
オーバーフローチューブから燃料が出てくるまで
プライミングポンプをゆっくり数回押してください。
オーバーフローチューブから燃料が出ていることを
確認できたらプライミング操作を止めてください。

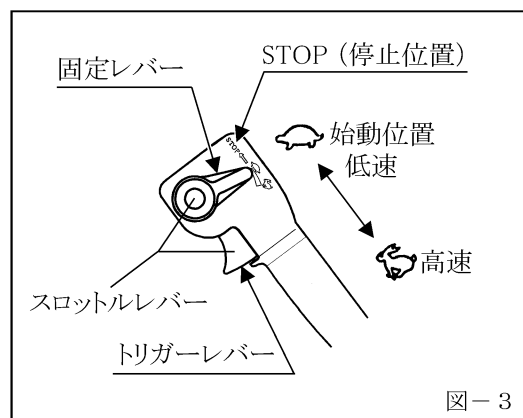


図-3

- ・プライミング操作でオーバーフローした燃料は、燃料タンクに戻る構造となっています。
プライミング操作は、十分行ってください。
吸い込みすぎ等の状態になる心配はありません。

- (3) チョークレバーを上側へ押し上げて、チョークを全閉にします。(図-5)
※エンジンが暖まっている時は、半開または全開にします。

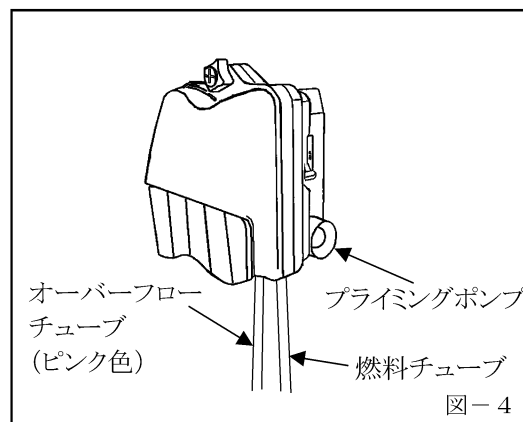


図-4

- (4) 左手でファンケース頂部をしっかりと押さえ、右手でリコイルスタータを引張り始動します。(図-6)

注意

リコイルスタータは、全部引ききらないで多少余裕を残しておいてください。

引いた後は、急激に手を離さずにゆっくりと戻してください。

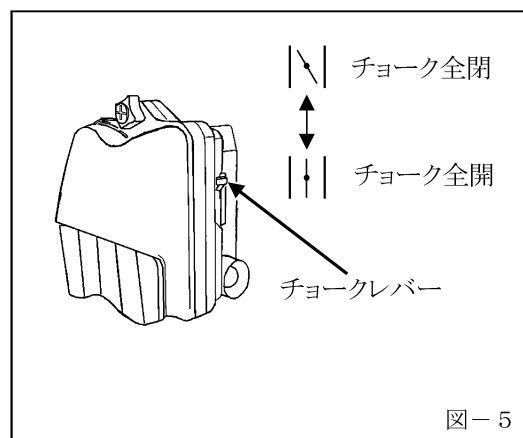


図-5

- (5) エンジン始動後、チョークレバーを全開にします。
※チョークレバーを全開にしたままでは、エンジンの回転数が不安定となりますので、必ずチョークレバーを全開にしてください。
- (6) エンジンを低回転で暖機運転を行ってください。

注意

冬期で約5分、夏期で約2～3分間行ってください。

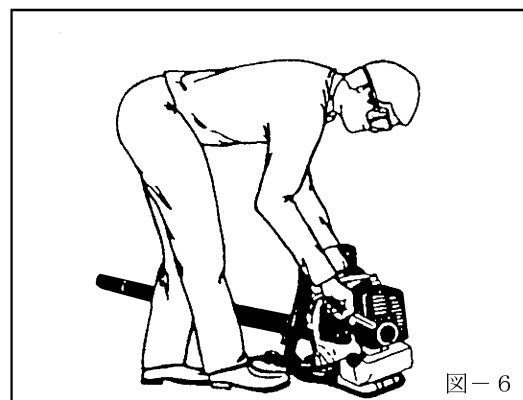


図-6

2. エンジンの停止

- (1) 固定レバーを低速位置に戻し、低速で冷却運転をしばらく続けます。(30秒～1分間)
- (2) 冷却運転が完了した後、固定レバーを「STOP」の位置にして、エンジンを停止します。
- (3) 引き続き作業をしない場合は、燃料タンク内の燃料を抜き取った後、エンジンを再始動させ止まるまで運転します。この様にしておくと、次の作業時にエンジン再始動が容易となります。

F. 各部の点検

始動前に必ず下記内容の点検をしてください。

1. 各部のネジのゆるみ

ガタガタしている部品、ネジがゆるんでいる部品がないか点検し、ゆるんでいる部分は確実に締め付けてください。

2. 防振ゴム (図-7)

防振ゴムに亀裂等が無いことを確認してください。
亀裂が入っている場合は、直ちに交換してください。

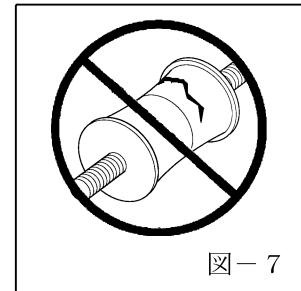


図-7

3. マフラー (図-8)

マフラーに亀裂等が無いことを確認してください。
亀裂や異音が有る場合は、直ちに交換してください。

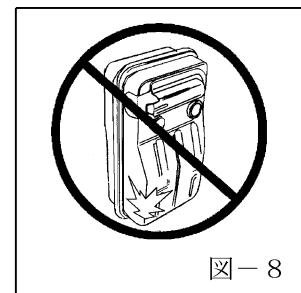


図-8

4. ショルダバンド

ショルダバンドにほつれ等が無いことを確認してください。
ほつれ、切れ等有る場合は、交換してください。

G. 操作方法

1. ショルダバンドを体格にあった長さに調整してください。
2. 背負い部のフレーム下面が、作業者の臀部直上あたりに位置した時、最も疲労感が少ない作業姿勢となります。
3. 清掃の対象となる落ち葉、ゴミ、枯草等、作業環境に応じて、ブロワのエンジン回転数を選定し、最良の風速で作業してください。例えば、バンカーやその周辺の清掃には、砂が舞い散らないよう低速で、グリーン上グリーンサイド、フェアウェイ、ラフ、その他樹木やクラブハウスの周辺、通路、側溝等には高速で行う等です。

※注意

- ・排ガスは人体に有害です。室内等の換気の悪い場所では使用しないでください。
- ・作業範囲（15m以内）には、人、動物をいれないこと。また、車等がないことを確認すること。
- ・いつも軽快な服装をして、衣服等が吸い込まれない様にする。
- ・必ず、防護メガネ、防塵マスク、耳栓等の適正な保護具を着用すること。

H. エンジンの調整

1. 気化器の調整

気化器の調整は不要です。

- ・不調の場合は、販売店にご相談ください。

2. 点火プラグの調整 (図-9)

- (1) 点火プラグがカーボンで汚れている場合、清掃または、交換してください。
- (2) 点火プラグの中心電極の先端が丸くなったり、接地電極が劣化していれば、交換してください。
- (3) プラグ電極スキマは、0.85mmに調整してください。

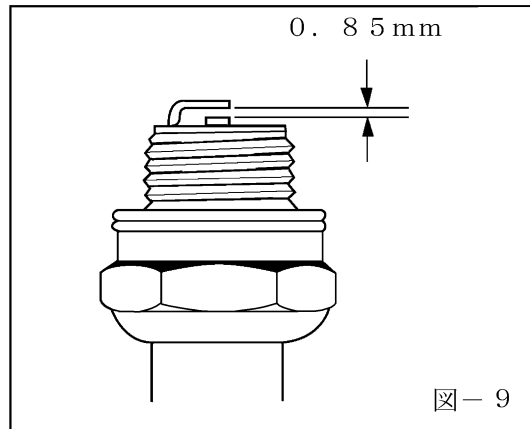


図-9

3. エアクリーナの清掃 (図-10)

エアクリーナは、下記の手順で清掃します。

- (1) エアクリーナカバーを外し、エアフィルターを取り出します。
- (2) エアフィルターのホコリを落として、エアクリーナ内にセットしてください。

※汚れがひどい場合は、エアフィルターを交換してください。

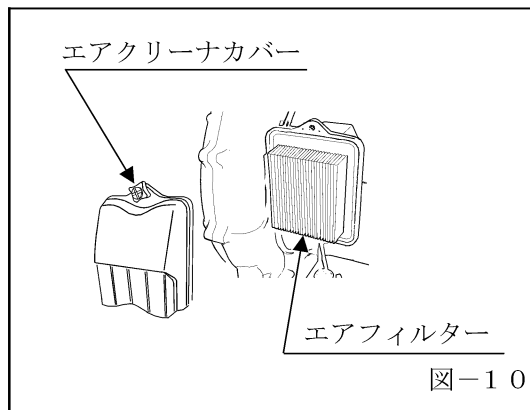


図-10

4. マフラーと排気口の清掃 (図-11)

シリンダ燃料室、排気口、スパークアレスタ、マフラーの入り口、出口にカーボンが付着しますと出力が低下したりオーバーヒート、回転数ダウンの原因となります。

定期的にはマフラーを外し、清掃してください。

このときピストンやシリンダを傷つけないよう注意して行ってください。

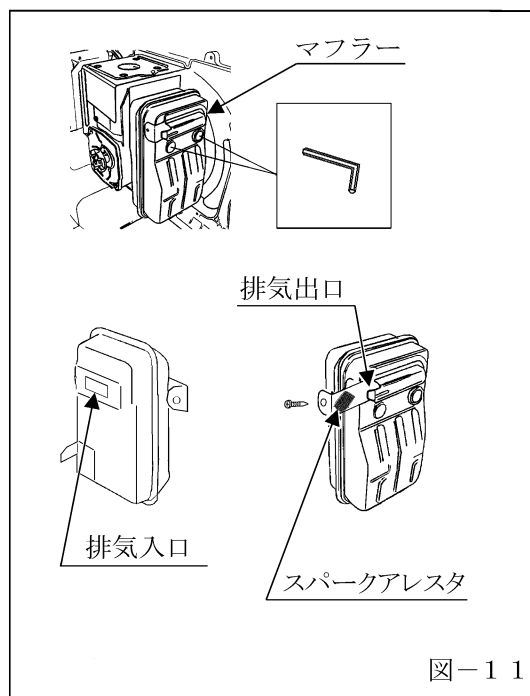


図-11

I. 定期点検

下記表に従って、定期点検をしてください。

- ・効率の良い安全な作業を行うため、定期的に点検をしてください。
- ・損傷した部品は、修理・交換してください。交換の場合は、必ず当社指定の部品を使用してください。

項 目	使 用 時 間			
	使用毎	25時間毎	50時間毎	100時間毎
ボルト・ナットのゆるみ点検		○		
燃料点検	○			
エアクリーナエレメント清掃		○		
シリンダ締付ナットの増し締め		◎	○	
点火プラグの清掃・電極スキマ点検			○	
燃料タンクの清掃			○	
ストレーナの清掃			○	
その他エンジン各部の増し締め			○	
マフラー出入り口・シリンダ・ピストンのカーボン清掃				○

J. 保 管

作業シーズンが終わり、長期間保管する場合は、次の事項を実施してください。

1. 保管する場合、エンジンが完全に冷えてから火気の無い場所に保管してください。
2. 各部を十分に清掃し、金属部には、錆止めのため、うすくオイルを塗ってください。
3. 各部の締付箇所のゆるみを確認し、ゆるんでいる箇所は、締め付けてください。
4. 燃料タンクの燃料を完全に抜き取り、再びエンジンを始動させ、キャブレター及び、燃料パイプ内の燃料を使い切ってください。

燃料が残ったまま長期間保管すると燃料が劣化し、始動不良等の原因となります。

5. スパークプラグの穴から少量のオイルを流し込み、リコイルスタータを引き圧縮のあとで止めてください。
6. エアクリーナ等を点検し清掃、乾燥させてから取付けてください。
7. 湿気の少ない所にチリやホコリが付着しない様に格納してください。損傷部分の有無を確認し、損傷部分は必ず修理してください。
8. 保管場所は、子供の手の届かない場所で、屋内に保管してください。



株式会社IHシバウラ

グリーン事業部

お問い合わせ先

〒390-8714 長野県松本市石芝 1-1-1 TEL.0263 (25) 4502 FAX.0263(26)7517